



東北の英雄

ザ・グレート・サスケ

ザ・グレート・サスケ

(ざ・ぐれーと・さすけ)

1969年7月18日生まれ、岩手県盛岡市出身。1990年にユニバーサルプロレスでMASA みちのくとしてデビュー。その後、メキシコ遠征を経て、1993年に地元・岩手県盛岡市を本拠地とするみちのくプロレスを旗揚げ。日本初のローカルプロレス団体として話題を呼び、たちまちブレイクを果たす。また、新日本プロレスなどにも出場し、90年代のプロレス界のジュニア戦線を盛り上げる立役者となった。2003年には岩手県議会議員選挙に出馬し見事に当選。覆面をかぶったまま議会に出席するなど、全国レベルの話題を提供した。その後も、様々な話題を振りまき、毎年12月のみちのくプロレス後楽園大会で行なわれるバラモン兄弟との「宇宙大戦争」は年末の風物詩となっている。

「プロレス界で誰が変態かって言ったら私ですからね！」(サスケ)

ガンツ さて、注文したビールはまだ来てませんが、早速始めちゃいましょうか？

玉袋 おう、すぐ始めよう。今日のゲストは、出会って4秒で合体！って感じの人なんだから！

サスケ ガハハハハ！ うまい！（笑）。

ガンツ というわけで今回は、我がザ・グレート・サスケさんが変態座談会に満を辞しての登場です！

玉袋 いや、お待ちせしました。お待ちせしすぎたかもしれません！

椎名 まさに（笑）。

サスケ だって、プロレス界で誰が変態かって言ったら私ですからね！

ガンツ サスケを呼ばずに、変態座談会を名乗るな、と（笑）。

椎名 そして誰がグレートかと言ってもサスケさんですよね（笑）。

玉袋 そうだよ。グレート界の頂点に立つ男だからね。グレート義大夫の比じゃねえんだから！

サスケ いやいやいや（笑）。

ガンツ そして椎名さんは、昔からサスケさんを「人生の師」と公言されてますしね（笑）。

椎名 フランス書院のインタビューで、「セックスするときは必ず覆面を被る」と語っていたのを

読んで以来、「先生」と呼ばせていただいております（笑）。

サスケ いやいやいや。でも、マスクを被るのは当然なんですよ。だってこれが私の顔なんです

から！

玉袋 上だけじゃなく、下もマスク被せねえと小出恵介になっちゃうからな。

サスケ うまい！（笑）。

玉袋 アイツは下のマスクをしてなかったから。少しはマスクマンを見習えと。

椎名 それはエチケツトだもんね。上も下もマスクを被って、それをフランス書院で語るグレート・サスケ先生を見習わないと！（笑）。

サスケ あれは2002年ぐらいに取材を受けてそれが掲載されたんですけど、その翌年に私が（山手県議会）議員になっちゃったので、フランス書院さんに電話をして、「すみません、あれをちょっと止めてくれませんか」ってお願いしたんですよ（笑）。

ガンツ スキャンダル火種になりかねないので（笑）。

サスケ フランス書院さんもやさしくて、「わかりました！我々はサスケさんの味方ですから、極力抑えます」って言うってくださってね。いまでも年賀状でのやり取りをしていますよ（笑）。

椎名 あれはインターネットでの公開ですから、どうしても魚拓が残りますよ（笑）。

玉袋 でも、フランス書院との付き合いが続いてるっていうのがいいね。俺もサスケ社長に会うのは久しぶりだからうれしいよ！

サスケ 久しぶりですよねえ。私の記憶によると14年ぶりくらいですよ。玉さんが、高田文夫先生と一緒に盛岡にいらしたとき以来。

玉袋 そうだ、そうだ！あんとき以来か。



サスケ 私は素顔のMASAみちのく時代にも浅草キッドさんとテレビ番組で一緒にしてますからね。

玉袋 懐かしいね。俺は当時、ユニバーサル（レスリング連盟）でリングアナやってたAV男優のマグナム北斗と仲がよくて、あいつがいつも「MASAはええで。あのケブラーダは最高やで」って言ってたんだよ。その頃に会ったのが最初だから古い付き合いだよ。

ガンツ では今回は、サスケさんがいかにしてグレートな男になったのか、その半生をうかがっていきたいと思いますが、まずプロレスラーにはいつ頃なろうと思ったんですか？

サスケ なろうと思ったのは13歳ですね。

玉袋 きっかけはなんだったの？

サスケ 中2のある晴れた日に盛岡の自宅で窓から空を眺めてたら、『プロレスラーになりなさい』っていう天の声が聞こえてきたんですよ。

椎名 もう、その頃から聞こえてたんですね（笑）。

サスケ はい、神からのメッセージがドーンと来たんです。これは日本語とか英語などの言語じゃなくて、テレパシーでしたね。

玉袋 神からのテレパシーを感じ取っちゃったんだ。

サスケ それに衝撃を受けてですね。「これは私の使命なんだ！」と思って、その日からもうヒンズースクワットを始めて、プロレスラーになることを決意しました。

椎名 器械体操はもうやってたんですか？

サスケ 体操はすでにやってましたね。なので、それにプラスして空手をやったり、高校に上がってからウエイトリフティングをやったりとか、いろんなトレーニングをしてましたね。

玉袋 高校卒業して上京するとき、親はどう説得したんですか？

サスケ 私は次男坊なので特に反対もされなかったのですが、すんなり上京はできたんですよ。しかも私の高校卒業にちょうど合わせたかのように**新日本プロレス学校**ができたんで、導かれてるとしか言いようがなかったんです。

椎名 「神様が言ったのはこれだったのか！」と（笑）。

サスケ だから「新日本プロレス学校は私のための学校だ」と思って、1期生として入りましたね。マクドナルドで深夜のアルバイトをしながら通いました。

玉袋 学校に実際入ってみてどうだったんですか？

サスケ プロ養成コースっていうのとは一般コースというのがあったんですけど、最終的にはプロ

を目指す人も一般の人も入り混じってるような感じでやってみましたね。

玉袋 1期生は何人くらいいたの？

サスケ 100人以上はいましたね。

椎名 100人ですか!?! それがあの新日道場で？

サスケ はい、あの狭い道場で(笑)。

玉袋 でも、ファンにはたまらねえよな。あの数々の名レスラーを生み出した上野毛道場で山本小鉄さんに直接教われるわけだもんね。

サスケ 同じ空間で、しかもホンモノのリング、ホンモノのトレーニング器具があつて。コシテイを触ってもいいんですから。

玉袋 初コシテイだ(笑)。

サスケ 真っ先にコシテイを触りましたよ!(笑)。

玉袋 同期は誰だったの？

サスケ いま残ってるのでは、西村修……先生。

ガンツ 区議会議員なので「先生」をつけなきゃいけない(笑)。

サスケ ええ。県議会議員選挙で落ちてる私が呼び捨てにはできませんよ!

椎名 プロレス学校卒業生はなんかスピリチュアルな方向に行くタイプが多いですね(笑)。

玉袋 無我からヨガだもんね(笑)。

サスケ うまいですねえ(笑)。

玉袋 天山（広吉）は？

サスケ 天山選手は1期下ですね。あとは引退されてますけど新日本の三澤（威）トレーナーも同期でした。

ガンツ そういう人たちとプロレスラーを目指す夢を語りながら練習していたわけですね。

サスケ 最高の青春時代でしたね。

玉袋 もちろん中2で神の啓示を受けてからトレーニング積んでたんで、プロ養成コースの練習もすっかりついていけたんでしょ？

サスケ そうですね。中学・高校時代に相当トレーニングしてましたからまったく問題なく、1年後の新日本のプロテストも体力的には通過してたんですよ。でも、当時は「身長180センチ以上」という規定が凄く厳しくて、身長が足りないってことで結局プロテストは2年連続で合格ならずだったんです。

玉袋 プロレス学校で「2浪」はつれえなく。

「レインメーカーもアポロ計画から生まれたってことだよ！」（玉袋）

サスケ 当初からいた生徒もさすがに2回もやって落ちると、「これからどうしようか……」ってみんな焦るわけですよ。やっぱり歳を取るわけですからね。それで、「じゃあ、俺は〇〇に行く！」って、新日本以外の団体を受け始めるわけです。それで全日本に行った人もいますしね。

ガンツ 浅子覚さんがそうですよね。

サスケ そうそう。それで私の場合、そのタイミングでユニバーサル（レスリング連盟）ができてというニュースが飛び込んできて、「これは私のためにできた団体だ！」と思ったわけですよ。

玉袋 またしても神の啓示が来たんだ！（笑）。

サスケ ユニバーサルはとくに新人募集はしてなかったんですけど、「前座なら私の活躍の場があるんじゃないか」と勝手に想像して、事務所の住所を調べて履歴書持参で直談判に行ったんですよ。そしたら社長の新聞ジュニア（新聞寿恒）さんが面接してくれて、「ウチ、募集してないんだけど……」って困惑されつつも、「なんかおもしろいヤツだな」っておっしゃってくださいました。「じゃあ試しにやるか！」って採用してくれたんです。で、ちょうどそのとき、日本人選手がすでに3人いて、それが現在のスペル・デルフィン、邪道&外道だったんですね。

玉袋 たけしプロレス軍団の残党だな（笑）。

ガンツ はぐれTPGがユニバに流れ着いたわけですね（笑）。

サスケ 実際、新聞ジュニアさんに「いま、TPGの残党がいるから、そいつらに混じってやるか？」って言われて、「ぜひ、やらせてください！」ってなったんですよ（笑）。

玉袋 じゃあ入った頃はその3人が先輩になるんだ。

サスケ そう、先輩です。

玉袋 その3人はどうだったの？

サスケ 最初は3人とも荒くれ者でしたね。どういう育ち方をすればこういう大人ができればか

んだっていう。親の顔が見てみたいっていうね（笑）。歳は1個上、2個上なんですけど、そういう感覚に襲われたのは初めてですね。

椎名 そんなに悪かったんだ。

サスケ だって挨拶がまず、拳でぶん殴ることですからね（笑）。

椎名 挨拶代わりの暴力！ さすが元ジェラルド・ゴルドーの弟子！（笑）。

玉袋 そうだよ！ T P Gが自然消滅した後、なぜかゴルドーに呼ばれて、オランダで試合してるんだよな。

ガンツ とくにクーリー・S Z（邪道）が酷かったと聞いております（笑）。

サスケ ああ、そうですね。邪道はもう頂点ですね（笑）。

玉袋 邪道はそうだろうなあ。邪道・外道って、名前のまんまじゃねえかって（笑）。

サスケ でも、逆にその瞬間、猛烈にうれしかったんですよ。それまではプロレス学校の生徒にすぎなかったんだけど、やっとプロレスの業界に入った、入門できたんだっていう。

椎名 「普通じゃない世界に入ったぞ」って（笑）。

サスケ そうそう（笑）。

ガンツ ユニバーサルでは誰がプロレスを教えてくれたんですか？

サスケ 本来であれば、グラン浜田さんや浅井（嘉浩）ウルティモ・ドラゴン）さんがコーチをしてくれるべきだと思うんですけど、お二人はメキシコ在住でシリーズのときにしか日本に来ませんから。そうするとコーチというコーチはいないんですね。なので手探り状態で。